

Title	New Economyにおける生命保険業の競争戦略
Sub Title	
Author	溝口佳子(Yahagi, Tsuneo) 矢作, 恒雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2000
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2000年度経営学 第1638号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002000-1638">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002000-1638</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	矢作 研究会	学籍番号	89928911	氏名	溝口 佳子
<p>(論文題名)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;"><b>New Economy における生命保険業の競争戦略</b></p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p><b>【問題の所在と研究の目的】</b></p> <p>生命保険業界は、長期に亘って、大手 7 社による寡占市場を形成しつつ、安定的成長を遂げてきた。</p> <p>しかし IT 革命が進展し、New Economy と呼ばれる新しい競争環境が到来することで、その競争メカニズムにも変化が生じてきている。</p> <p>それにも関わらず、生保各社は、引き続き、従来型の競争メカニズムに即した経営戦略を選択している。</p> <p>そこで、New Economy における、生命保険会社の競争力強化要因を抽出し、収益モデルを明らかにした上で、生保各社に対する具体的戦略提言を行うことを本論文の目的としている。</p> <p><b>【研究の手法】</b></p> <p>本論文の前提となっている競争メカニズムの変化が、New Economy の到来で、生命保険業界においても生じているかを、まず検証する必要がある。そこで、従来型の収益モデルと現在の収益モデルを、経営資源そして構造的アプローチで構築し、それを、実証分析および事例研究で検証している。そして、両者を比較することで競争メカニズムの変化の抽出を行っている。その上で、現在の競争メカニズムに即した経営戦略の提言を行っている。</p> <p><b>【主要な結論】</b></p> <p>従来の生命保険会社にとって、営業基盤と資産の“規模”そのものが、最も重要な競争力強化要因であった。しかし、New Economy において、それは、“新しい付加価値”へと変化してきている。そして、その“新しい付加価値”提供は、IT を活用し、構造的変化および必要な経営資源の変化を伴って、実現されていることが判明した。</p> <p>以上のような検証結果が示唆するところは、生命保険各社の経営戦略の転換である。従来型の収益モデルを想定した“規模”を追求する経営戦略から、New Economy の収益モデルを前提とした“新しい付加価値”を提供できる経営戦略への転換である。</p> <p>そこで、本論文では、“新しい付加価値”を提供できる、3つの戦略を提言している。それは、①バーチャル連合、②購買代理、③事務統合サービス、である。</p>					